

## (10) 職員に求められる資質

保育の質の確保、向上の実現のためには、保育園職員一人一人の資質が重要です。

全国保育士会倫理綱領を踏まえ、かつ、この綱領を行動規範として地域における子育て支援、子育てにやさしい社会づくりのために、職務への責任感を持ち、専門性の向上に努めてなくてはなりません。

知識・技能・判断力・対応力といった専門的知識と技術を柔軟に用いながら、改善に前向きに取り組み、子どもの保育と保護者の支援を行うことが求められます。

また、園長はその責務として、保育園の役割や社会的責任を遂行するために法令等を遵守し保育の質の向上に努めていきます。

日々の保育を通じて自己を省察するとともに、職員一人一人が園全体としての目標を共有しながら協働する一つのチームとなって保育に当たり、共に学び続けていく姿勢が必要です。

1	社会人としての自覚をもち、常識ある態度で職務に臨んでいる。	
2	子どもを一人の個としてとらえ、一人の人間として尊重し、子どもが主体的意欲的に活動できるよう働きかけている。	
3	乳幼児の発達過程を理解し、子ども一人一人の成長・発達に合わせ見通しを持った援助をしている。	
4	保護者の気持ちに寄り添い、保護者と共に子どもの成長を喜び合い、子どもの育ちや子育てを支えている。	
5	個人情報適切な取り扱い、秘密の保持を徹底している。	
6	日頃の保育を定期的に振り返り自己評価し、保育の質の向上に努めている。	
7	子どもを取り巻く家庭、地域社会全体に視野を向け、常に子どもの福祉の向上を考える意識をもっている。	
8	地域の子育て支援の拠点として関係機関と共に子育てを支援し、地域で子どもを育てる環境づくりを行っている。	
9	日頃から職場内研修や職場外研修、自己研鑽により保育の専門性を高める努力をしている。	
10	倫理観・人間性・保育園職員としての責任感を持ち、自覚をもって保育に従事している。	
11	保育所保育指針や浦安市就学前「保育・教育」指針いきいき☆浦安っ子を十分に理解し日々の保育実践に生かしており向上心をもって取り組んでいる。	

12	愛情をもって子どもたち一人一人と向き合い、一緒に楽しむことができ、積極的に保育に従事している。	
13	職員会議、研修、他園との交流等を通して、自身の保育の課題や不足している専門知識・技術について「気付き」の機会をもっている。	
14	保育士をはじめ、看護師、調理員、栄養士など職員がそれぞれの有する専門性を認識するとともに、共通理解を図りながら、保育に取り組んでいる。	
15	地域に開かれた社会資源として、地域の様々な人、場、機関などと連携し地域の子育て力の向上に努めている。	
16	互いの良いところを尊重し、認め合い、支え合う関係ができています。	
17	職員間で報告、連絡、相談ができ、指導や助言をすることができています。	
18	職員間のコミュニケーションを円滑にし、共通理解と協働性を高めようと行動している。	
19	職員（実習生を含む）を育てることを自覚し、アドバイスなども積極的に行っている。	
20	園長等は、施設の課題を自覚し、職員に対し指導や助言を行うなど、役割を果たしている。	
21	園長等は、保育園全体で質の高い保育を行うためのリーダーシップを発揮している。	

※本ガイドラインにおける“園長等”は、園長、副園長などの管理職的立場の職員を指します。

